

㈱高田建築設計事務所
広島工業大学 正会員

高田 輝 広
○福井 滋

本報告は国土庁の指定を受けて広島市と広島県山県郡戸河内町とが協同で実施した「山村と都市協同の山村振興モデル事業」計画を基としており、計画は都市住民に対して山村における自然レクリエーション・エリアを提供するとともに、過疎化に悩む山村地域の振興を図ることをねらいとしている。

1. 本計画の基本的視点

(1) 従来の計画手順の反省

従来の計画手順を要約すると、人口予測→産業別人口の予測→産業別所得の決定→将来の産業別活動量の予測→産業別土地利用計画→フィジカル・プランの策定 というプロセスがとられてきた。このことが結果として、経済開発の論理の貫徹を許容してきたといえる。しかし本計画策定においては、計画地域のもつ土地の自然性と住民を主体とした地域に内包している「情報」を体系的に整理し、地域課題を設定し、開発を包摂する土地利用計画を優先している。

(2) 経済開発から生活優先への開発という基本理念の貫徹

基本的には地域住民の生活共同体の確立がなければ総合的な地域振興にはならない。経済開発→生活パターンの変化→生活共同体の崩壊→全体計画の行きづまり という図式はこの10数年間の農山村計画にしばしばみられた。つまり「計画地域住民の生活パターンを基本的には変化させない」という原則を保ちつつ、生活共同体の役割を重視していくことが重要となる。

2. 計画のための調査・手法

上記の視点を具体化するためにとられた手法のうち主なものは次の3点である。

表-1 アンケート調査回収状況

区 分	発送枚数	回収数	無 効	有効回収数	回収率
広島市	3,500枚	2,402枚	22枚	2,380枚	68.2%
戸河内町	1,441	1,185	19	1,166	80.9%

① アンケートによる戸河内町住民の意識調査

調査→集落各の共同体の意識の抽出、将来への志向の把握、計画イメージの決定 ② アンケートによる広島市民の意識調査→都市住民のレクリエーション動向、山村に求める像の把握 ③ 計画単位地域ごとの生活関連施設の現況調査および自然特性調査→地域特性格別ゾーニング、地域診断表の作成 アンケートのうち戸河内町分は全世帯を対象として行い計画地域側の意向はとくに重視した。図-1、図-2はアンケート集計の一部で、それぞれ戸河内住民と広島市民の施設建設に対する希望を聞いたものである。

図-1 戸河内町の開発・整備計画で適当なもの(戸河内町住民意識調査)

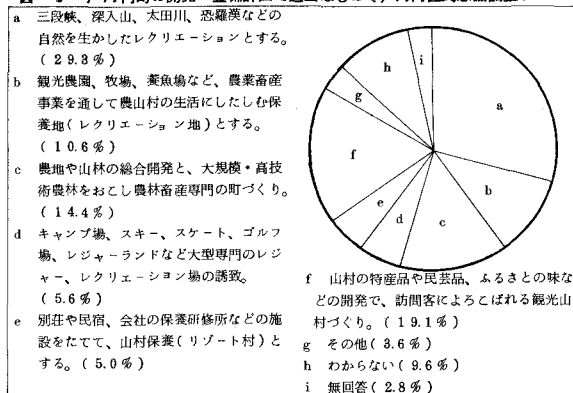
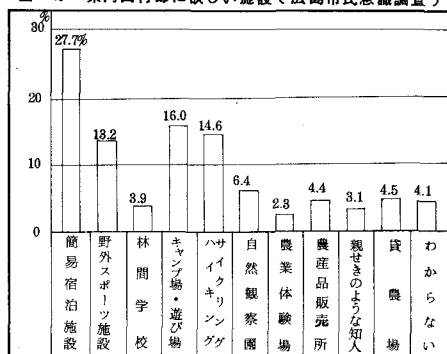


図-2 県内山村部に欲しい施設(広島市民意識調査)



3. 調査の分析と

表－2 集落別特性・開発方向

基本構想

①②のアンケート調査結果と④地域特性を分析し、おおまかな方向づけを行ったものが表－2である。これらの分析をさらに発展させた資料を基に広島市戸河内町両地域関係者によりブレインストーミング方式によって次のような基本構想が策定され、現在、一部は実施されている。

A・自然探勝、遊覧ゾーン計画（板ヶ谷、松原）－自然探勝周遊コース、沢遊び、溪谷遊

関区

B・自然レクリエーション

センターと連けいする民宿、学生村等簡易宿泊ゾーンの整備（松原）

C・梶の木から長原に至る緩傾地帯のリゾート・リビング・ゾーンの開発－①都市的生活機能ゾーンの整備②現在ある苗圃施設に観光要素をもちとむため「花木公園」の設置。

D・山岳性スポーツ地区整備（横川）

E・都市機能・流通販売機能ゾーンの整備（上本郷、下本郷、遊谷）－①山村開発センター（仮称）②陰陽物産館③民芸資料館④自然科学館⑤バスターミナル⑥農林産物集出荷加工センター⑦花木育苗施設⑧新商店街（地元業者）⑨新貸商店街（地元外業者）

F・行楽型宿泊ゾーンの整備（柴木、川手、板ヶ谷）－①公共施設区②導入修景区域および「つどいの広場」③宿泊客の散策区の整備

G・大規模林道整備計画ならびに山岳性スポーツ基地の開発整備（他計画との関連）

H・観光牧場ゾーン（小板）

I・その他関連するレクリエーション施設－①養魚施設（吉和）②観光椎茸園（梶の木）③木製民芸品加工体験販売施設

4. むすび

本報告は計画全体からいえば、一部分であり、あらすじを述べたものである。山村計画について、基本理念→調査→計画→実施という常識的な方式を住民優先という観点から貫いていったことが表現できていれば、一応ここでは目的を達している。詳細については筆者等にお問合せいただければお答えいたします。なお、計画実施主体である。戸河内町、広島市の関係者各位、広島県関係者各位および広島経済大学助教授赤星光路博士の御指導に対し、心から感謝の意を表します。

項目 集落名	自然保護地 域の比率大	土地利用 （含地質）	析出率	意識調査	開発の 基本方向	備 考
下本郷		△	○	○	△	戸河内町の拠点として、生活施設・行政サービス機能の整備が望まれる
上本郷		△	○	○	△	
下田吹		◎	◎	◎	◎	古生層が分布しているので林業振興地域と考えられる
上田吹		◎	○	◎	◎	
吉和郷		◎	○	◎	◎	地理的にもレクリエーション施設用地として可能 農業面での加工場のような施設が考えられる
遊谷		◎	×	◎	×	
土居		◎×	◎	△	◎	
打梨		◎○	×	◎	◎	古生層が分布しているので林業振興地域と考えられる
那須	*	○	×	×	◎	住民意識からも、農業外労働の場を提供されることが必要
横川	*	○	○	○	○	レクリエーション・エリアでのレクリエーション施設の位置づけ必要
柴木	*	○	×	○	○	
川手		◎	×	—	◎	開発適地あり
梶の木		◎	○	—	◎○	観光と一体化した農業振興
板ヶ谷	*	◎	○	◎	◎○	観光と一体化した農業振興
松原		◎○	◎	○	◎○	開発適地あり 観光と一体化した農業振興
小板	*	◎○	◎	◎	◎	開発適地あり 自然環境保護地域とのバランスを保つ必要
与一野		◎	◎	◎	◎	
才中得		◎	◎	◎	◎	
寺領		◎	◎	◎	◎	
長原		◎	○	◎	◎○	観光と一体化した農業振興
箕角		◎	×	△	◎×	
中央		◎	×	△	◎×	戸河内町の中心地域としての生活環境整備必要
長田		◎	◎	△	◎	
猪山		◎○	○	◎	◎	開発適地あり シイタケ栽培等の山菜農業
平見谷		◎	◎	◎	◎	

*…自然環境保護地域の比率大な集落 ◎…農林業振興地域 △…生活施設整備
○…観光開発 ×…工場導入